

令和7年10月7日

県政記者クラブ 各位

保健福祉部医療政策室

感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、サポウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起についてご協力をお願いします。

記

1 発症状況等について

大船渡保健所管内の教育・保育施設（園児119名、職員28名）

- (1) 10月2日(木)に、当該施設から大船渡保健所へ、複数名の園児が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から、大船渡保健所が調査を開始し、9月18日(木)から10月6日(月)にかけて、園児に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。
- (3) 重症者、入院者はなし。有症者はいずれも回復傾向にある。

【有症者の性別・年齢別構成】（単位：人）

区 分	園児(クラス別)							職員	合計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計		
男	0	1	0	1	6	4	12	0	12
女	0	3	0	2	3	6	14	0	14
計	0	4	0	3	9	10	26	0	26

2 調査結果について

- (1) 環境保健研究センターで実施した糞便検査の結果、有症者8人からサポウイルスを検出。
- (2) 大船渡保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 大船渡保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】（盛岡市分を含む、()内は年度累計、単位：件）

区 分(公表日ベース)	ノロ ウイルス	ロタ ウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
令和7年4月1日～ 令和7年10月7日	14	0	18	32
令和6年4月1日～ 令和6年10月7日	8 (59)	0 (1)	6 (35)	14 (95)
令和5年4月1日～ 令和5年10月7日	9 (42)	0 (0)	8 (43)	17 (85)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、マスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 松舘・松村 019-629-5417】